

# ハンドボール

スローオフチーム 神奈川県



(財) 日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. 35

No. (16名用)

A	神奈川県	鹿児島県	B
	19	31	
	11 8	13 18	
	7m TC		
A	山本 純倫	小野 寛人	B

大会名	第67回国民体育大会男子清流国体		
平成24年	10月7日(日)	場所	下呂交流会館
種別	成年	男・国	回戦 第3回戦 準決 決 リーグ

A	前半		後半		合計
	得点	失点	得点	失点	
13	16	6	11		
16		15			
得点					
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
合計 3 0 0 11 8 19					

B	前半		後半		合計
	得点	失点	得点	失点	
26	05	2	29		
得点					
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
合計 2 0 0 13 18 31					

タイムキーパー 山田 駿介 スコアラー 田代 賢

マンチサイン 秋田 長久 審判員サイン 梅本 信男

前半						後半					
A	結果	得点	時間	B	結果	A	結果	得点	時間	B	結果
11	1	0	28			11	12	1	17		
6	2	1	54					2	49	15	6
6 W		2	24	2	0	9		2	51	16	6
10	3	3	25			10	0	3	27		W 5
		7	20	3	0	9		5	32	17	6
10	4	7	59					6	10	18	5
		8	28					6	11		
		10	04					6	51	19	7
8 W		11	12	4	0	9		8	03	20	2
3 W		13	06	5	4		5	0	4	9	02
		13	16					10	59	21	2
		14	23					11	45	22	2
10	0	5	15	23				13	16	23	9
		16	07	6	2			14	52	24	7
		17	28	7	0	2		16	09	25	9
		18	59	8	6			16	15		
3	6	19	39			5	15	17	45		
3	7	20	12					19	16	26	6
		20	45	9	5			19	50		
11	8	27	06			8	17	20	21		
		23	06	10	0	9		18	20	38	
		25	17	11	5			21	29		①
10	0	9	25	50				23	03	27	0
		26	05					23	49	28	7
		27	12	12	7	5	19	24	28		
8	10	27	41					28	12	27	6
11	11	28	32					28	49	30	7
		28	59	13	9			29	58	31	6
11 - 13						19 - 31					

特記事項

## ハンドボール

ぎふ清流国体ハンドボール競技

## 結果報告

No. 34

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月7日 (日)	試合記号	Em	回戦	準々決勝
種別	成年女子	会場	下呂市交流会館		
A (都道府県名)			B (都道府県名)		
神奈川県			鹿児島県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
19	11	前半	13	31	
	8	後半	18		
		第1延長 (前半)			
		第1延長 (後半)			
		第2延長 (前半)			
		第2延長 (後半)			
		7mTC			

## 【 戦 評 】

記載者氏名

鈴木 隆

準々決勝、日本リーグメンバーで固めた鹿児島県に対し、大学生主体の神奈川県がどのような戦いを挑むか楽しみな一戦である。神奈川県のスローオフで試合が開始。神奈川県が11番深田の左45からのロングシュートで先制。直後、鹿児島県が5番田中から7番錦織へのポストパスですかさず同点。神奈川県は6番鈴木、10番川村、11番深田のロングシュート、ミドルシュートで得点する。鹿児島県は8分過ぎからロングシュートに対応するため、ディフェンスの位置を高くした。攻撃面では、早いパス回しからのカットインプレー、ポストプレー等による攻撃を繰り返し、神奈川県ディフェンスの対応の遅れもあり、7本の7mスローを得、そのうち5点を決める。神奈川県ゴールキーパー1番笹原の好セーブもあり、一進一退の攻防を繰り返した。13対11、神奈川県健闘が光り、鹿児島県の2点リードで前半を終えた。

後半の立ち上がり鹿児島県は、セットから9番山野のロングシュート、6番石井の左からのサイドシュート等で4点差にし、さらに5分過ぎには5番田中のパスカットや相手のミスに乗じた速攻で差を広げた。神奈川県はタイムアウトを取り、流れを変えようと図ったが、鹿児島県7番錦織のポストプレー、2番儀間のセンターからのカットインプレー等で着実に点差を広げた。神奈川県は後半の15分間で7mスローの得点、1点しか奪うことができなかった。残り15分間で5番酒巻、6番鈴木、8番諸岡、10番川村の速攻で得点したが、後半は地力に勝る鹿児島県が圧倒し、31対19で神奈川県を退けた。